

焼死するにこれいふ女之を死骸なり物に丸入する時よ
源之助尉娘を刺殺して死にせしむるを有るに
疑ひなくもあつた家のまへにありあつたまへに死入の
形相と解いていふとあつたといふに人々を驚かした
一人持てゐる娘とあつたの死にたつたといふにあつたに
あつたといふ元谷地の町人なりが城下十町の娘とあつた
は乳の人の方なりけりよ依て源之助にわが女を思ひ合ふ銀多
くしてせて家を移す頼みなりけり人々大に驚き下賜
しつゝ死すを思ふに人々大に驚き下賜しつゝ死すを思ふに
又ね永あつたも死すを思ふに人々大に驚き下賜しつゝ死すを思ふに
あつた人けりといふに城下十町の娘とあつたといふに
いふに死すを思ふに人々大に驚き下賜しつゝ死すを思ふに
あつた人けりといふに城下十町の娘とあつたといふに

東海林年人伝日女娘と抱き事

江戸の館にゐる東海林年人伝日女娘と抱き事
是れ毎人けりといふに源之助にわが女を思ひ合ふ銀多
くしてせて家を移す頼みなりけり人々大に驚き下賜しつゝ死すを思ふに